

建設職（土木）

〈現所属：建設部土木課〉

令和2年度採用 土木技師

・弘前市役所を志望した理由は？

弘前という場所に偶々ご縁があったからということもありますが、前職が海底油田の開発・生産という事業領域において、石油・ガス生産設備の設計・建造・操業・保守点検を行う会社だったので、ものづくりにおいて、同じく設計・施工・維持管理の全てに携わる機会のある土木技術職を希望しました。

・現在の自分の主な担当業務

市が管理する道路や橋を改良・補修する工事の設計および工事監督

市が管理する道路や橋に対する要望等への対応

個人が管理する道路における舗装整備やロードミラー設置に対する要望への対応

小学校・警察・青森県と合同で通学路の安全点検を実施し、抽出された危険箇所における安全対策の実施

市が管理する道路で発生した災害への応急対策と復旧工事の設計および工事監督

・とある1日のおおまかなスケジュールは？

7:30	勉強、資料収集
8:30	業務開始
9:00	外勤、工事の施工検査
11:00	帰庁、工事書類精査
12:00	昼食、昼休み
12:45	設計書作成
13:30	市内コンサル業者と打合せ
15:30	設計書作成
17:00	業務終了、退勤

・仕事をする上で心がけていることは？

設計する際に自分が1日かければできる努力を怠ると、現場ではその対応に10倍、さらには工事完成後に改良しようとするれば100倍の労力がかかるという言葉の前職から引続き心に留め、法的・技術的根拠に基づき設計する中で、最適な設計ができないか志向・思考・試行することを心がけています。

・今までの業務で印象に残っていることは？

入庁2年目の時に史跡大森勝山遺跡の園路整備工事と駐車場の基盤造成工事を担当

したことです。既に発注済みの工事を引き継いだのですが、訪問客の利便性向上のため
できないことがないか関係課と協議を繰り返し、その内容を設計に反映し変更すること
により良い形となり、無事に世界遺産に登録された時は胸をなでおろしました。

・これまでの業務で大変だったことは？

令和4年8月の大雨により発生した災害を復旧する予算を確保するために、国から補
助金を受ける災害査定準備です。6人の担当で、道路災害と河川災害に分かれて業
務を担当しましたが、災害査定を経験した人間が誰もおらず、全て手探りの中で、且つ
時間との勝負という非常に困難な業務でした。

・達成感や、やりがいを感じる時は？

年間20件程度の土木工事を完了させるため、それぞれの設計・工事所要日数や施工
条件を勘案しつつ年間の業務計画を作成・管理する中で、日々追加される新規要望を並
行して、ひとつひとつ誠実に対応していくことに難しさとやりがいを感じます。

・弘前市の職員になって感じたこと・良かったことは？

職員同士の仲がよく、オンオフ切り替えながらも楽しく仕事できる環境にある点が非
常に良かったです。上記災害査定準備の際も、連日の長時間残業で肉体的にはハード
でしたが、6人が団結しお互いに支えながら仕事できたことで無事に乗り切ることが
でき、今となっては良い経験となっております。

・弘前市職員として働くことの魅力は？

前職と異なり担当する工事の現場がすぐ近くにあり、その身近なインフラを整備した
結果が、付近にお住まいの市民の方からの反応ですぐに実感できる点に、魅力と責任を
感じています。

・弘前市の「まち」としての魅力は？

自分の出身地には、これ程美しく四季を感じることでできる城下町がなかったので、
それだけでも十分魅力的に感じています。加えて私自身子育てをする中で、子どもが
伸び伸びと遊べる環境が整備されている点も移住して良かったと感じています。

・これから弘前市役所を目指す人へ一言

民間企業を経て公務員を経験する中で、改めて人間力を磨くことが大切であると身に
染みんでいます。将来の予測が困難な時代において自ら考え行動できる能力も重要ではあ
りますが、最後は人と人なので、この人のため尽力したいと双方思える関係を、市民・
業者・同僚と築いていく努力と一緒に継続していける方と働くことができれば幸いです。